

テニス教室参加誓約書

【感染防止チェックリスト】

- 1) 他県を訪問した場合、帰宅日から本日まで2週間以上経過していること。
- 2) 参加直前の体温が37.5℃以上の場合は、参加しない。
- 3) だるさ・息苦しさがある、臭いや味がいつもと異なると感じた時は、参加しない。
- 4) 感染らしき症状があるときは、14日間以上経過後より参加する。
- 5) 濃厚接触者またはそれに近い者に相当する場合も、14日間以上経過後より参加する。
- 6) 教室開催の7回終了までは会食やカラオケ、感染者多発地域への旅行などを避けること。
- 7) 日常生活では、感染しないよう殺菌・消毒の徹底、3密回避に心がけること。
- 8) レッスン中はマスクを着用。距離を離れた練習の時のみ外しても良い。
- 9) レッスン中は極力会話を避けて、生徒同士の間隔を2m以上離していること。
- 10) もし感染が発覚した場合は速やかに連絡し、協会からの情報公開には協力する。

チェックできない項目がある場合は、その理由を下に記入して提出してください。

(_____)
(_____)
(_____)

磐田市テニス教室参加にあたり、すべての項目に正しくチェックできていることを
誓約いたします。 2021年 2月 5日(金)

署名：

もしも正しくチェックがなされない時は、発覚した時点より今後いつさいの教室・大会等
への参加を認めないものとします。 磐田市テニス協会

静岡県新型コロナウイルス感染防止について

12月25日（金）現在は「警戒レベル4（県内警戒、県外警戒）」です。
（富士市はレベル5（特別警戒）相当）

本県の感染者数は、県民の皆様の御協力により、減少傾向にありますが、感染者の散発が続いており、高齢者の入院増加で、引き続き医療提供体制の逼迫が懸念されています。感染流行期は「感染まん延期・中期」です。年末年始の帰省などの人の移動による感染拡大を抑止するため、県民の皆様には、「年末年始のコロナ特別警戒」期間（～1/11）として、最大限の感染防止行動を取ってくださいますようお願いいたします。

マスク非着用での歌唱や会話など、感染リスクの高い行動により、感染拡大しています。感染防止対策が不十分な店舗等への訪問は自粛くださるようお願いいたします。

東京都、愛知県、大阪府などの大都市地域を中心に、感染拡大が深刻化しています。感染経路不明者が多数を占め、市中に見えない感染者がいる可能性があることから、感染防止に細心の注意をお願いいたします。

静岡県新型コロナウイルス感染症対策本部

◎ 県境を跨ぐ不要不急の移動に関する行動制限

- ★今年、年末年始の不要不急の帰省は、我慢してお控え下さい。やむを得ず帰省される場合は、2週間前から、大人数や長時間の飲食を控え、検温など健康管理を徹底すると共に、帰省後、発熱等の症状が出た場合は、高齢者の方などと部屋や食事を分けるなど接触を回避し、早めに「発熱等受診相談センター」等に相談して下さい。
- ☆県民の皆様には、他都道府県から訪問される方が、既に感染しているかもしれないという意識をお持ちいただき、「新しい生活様式」の徹底のほか、「三つの密」が重なる場所に行かない、作らないなど、感染予防対策の徹底をお願いいたします。

1 本県を出発する皆様へ

（静岡県の独自の評価によるものであり、外出の検討にあたっては、訪問先の県等が発表している行動制限を尊重してください。）

- (1) 全ての外出について、「新しい生活様式」を徹底し、自分や相手が感染しているかもしれないという意識を持って、注意して行動してください。
- (2) 北海道、宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、岡山県、広島県、高知県、福岡県、熊本県、大分県、沖縄県への移動については、特に慎重に行動してください。
北海道の札幌市、旭川市、群馬県、東京都、神奈川県、愛知県、岐阜県、大阪府との往来は、感染リスクが回避できない場合は、自粛して下さい。
- (3) 岩手県、石川県、山梨県、滋賀県、和歌山県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県への移動については、慎重に行動してください。
※訪問の際は、訪問地域の感染状況を把握し、訪問目的などを十分御検討ください。
「新しい生活様式」を徹底した上で、事前の行動計画の策定により滞在時間の短縮や電車の混雑の回避などに努めるとともに、大人数の会食やマスク非着用での歌唱、大声での会話などの感染リスクの高い行為のほか、感染防止対策が不徹底な店舗等を回避するなど、最大限の感染予防行動をお願いします。
- (4) その他の県への訪問は、「新しい生活様式」など感染予防行動を徹底した上で、注意して訪問をお願いします。長距離での移動は感染リスクを高めるほか、これまで感染状況が少ない地域でも、急に感染が拡大している所があるため、訪問先の感染状況や経由地に御留意ください。